

## 1 指針の趣旨と役割

### (1) 趣旨

里地里山は、農林業の生産の場や生活の場として形成され、良好な景観の形成、生物の多様性の確保、災害の防止、生活文化の伝承、情操のかん養、レクリエーションの場の提供などの多面的機能を発揮しており、その多面的機能のもたらす恵みは多くの県民に享受されています。

しかしながら、近年、産業構造や生活様式の変化、農家の高齢化、集落の混住化等により、里地里山では適切な管理がされにくくなっており、その多面的機能が失われつつあります。

県ではこのような状況を踏まえ、「里地里山の多面的機能の発揮と次世代への継承を図る」ことを目的として「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」（平成19年神奈川県条例第61号。以下「条例」という。）を制定し、平成20年4月1日から施行するとともに、条例第7条の規定に基づき、里地里山の保全等の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための指針を平成21年3月に定め、平成26年3月及び平成30年3月に改定し施策を実施してきました。

条例施行から15年、県内の里地里山保全等の活動は着実に進んできており、条例及び指針は一定の役割を果たしています。

また、県の総合計画である「かながわランドデザイン・第3期実施計画 プロジェクト編」の「21 自然～多様な生物を育む自然環境の保全と活用～」において、**里地里山の保全等を促進する**という目標を掲げ、「里地里山の保全・活用」に取り組んできました。

一方、里地里山を取り巻く状況は活動団体の高齢化や人手不足、活動資金の不足などにより継続的な活動が危惧されています。

世界的な動きとして、令和4年12月のCOP15第2部において、**新たな生物多様性に関する世界目標である昆明・モントリオール生物多様性枠組が採択され、2030年までに地球上の陸域、海洋・沿岸域、内陸水域の30%を保護する30by30の取組みが合意され、生物多様性の重要性が高まっています。**

それに伴い国内においても、**自然共生サイトの取組が進められているところ**です。

こうした社会情勢の変化を踏まえ引き続き里地里山の保全等を推進していくため、指針の改定を行いました。

改定に当たっては、県民や活動団体の皆様から貴重な御意見や御提案を受けるとともに、神奈川県里地里山保全協議会での熱心な御議論をいただきました。御協力いただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

## 1 指針の趣旨と役割

### (1) 趣旨

里地里山は、農林業の生産の場や生活の場として形成され、良好な景観の形成、生物の多様性の確保、災害の防止、生活文化の伝承、情操のかん養、レクリエーションの場の提供などの多面的機能を発揮しており、その多面的機能のもたらす恵みは多くの県民に享受されています。

しかしながら、近年、産業構造や生活様式の変化、農家の高齢化、集落の混住化等により、里地里山では適切な管理がされにくくなっており、その多面的機能が失われつつあります。

県ではこのような状況を踏まえ、「里地里山の多面的機能の発揮と次世代への継承を図る」ことを目的として「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」（平成19年神奈川県条例第61号。以下「条例」という。）を制定し、平成20年4月1日から施行するとともに、条例第7条の規定に基づき、里地里山の保全等の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための指針を平成21年3月に定め、平成26年3月に改定し施策を実施してきました。

条例施行から10年、県内の里地里山保全等の活動は着実に進んできており、条例及び指針は一定の役割を果たしています。

また、県の総合計画である「かながわランドデザイン・第2期実施計画 プロジェクト編」の「21 自然～多様な生物を育む自然環境の保全と活用～」において、生活においやすらぎをもたらすことなど自然の有する多面的機能の維持・回復を図るという目標を掲げ、「里地里山の保全・活用」に取り組んできました。

一方、里地里山を取り巻く状況は活動団体の高齢化や人手不足、活動資金の不足などにより継続的な活動が危惧されています。

世界的な動きとして、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」によるSDGs（持続可能な開発目標）への取組が進められ、

国内においても、環境省の重要里地里山500の選定や、森林環境税の創設といった取組が進められているところ

こうした社会情勢の変化を踏まえ引き続き里地里山の保全等を推進していくため、指針の改定を行いました。

改定に当たっては、県民や活動団体の皆様から貴重な御意見や御提案を受けるとともに、神奈川県里地里山保全協議会での熱心な御議論をいただきました。御協力いただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

新

旧

## (2) 役割

この指針は条例の目的の達成に向け、今後の本県における里地里山の保全等の促進に関する目標を示すとともに、その目標を達成するために県が条例第3条に定める基本理念にのっとり取り組む施策の方向及び当該施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を明らかにするものです。

### 条例第3条に定める三つの基本理念

- 1 土地所有者等及び地域住民の主体性の尊重
- 2 土地所有者等、県民、県、市町村等相互の連携及び協働
- 3 地域の農林業の営みを尊重した継続的な保全等

## (2) 役割

この指針は条例の目的の達成に向け、今後の本県における里地里山の保全等の促進に関する目標を示すとともに、その目標を達成するために県が条例第3条に定める基本理念にのっとり取り組む施策の方向及び当該施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を明らかにするものです。

### 条例第3条に定める三つの基本理念

- 1 土地所有者等及び地域住民の主体性の尊重
- 2 土地所有者等、県民、県、市町村等相互の連携及び協働
- 3 地域の農林業の営みを尊重した継続的な保全等

## 2 取組実績と課題

### (1) 実績

2019～2024年度までは、条例の基本理念を踏まえ、3つの柱（里の力、まちの力、里の世話人）による施策を実施してきました。

（里の力、まちの力、里の世話人については12ページを参照）

#### ア 里の力

##### (ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進

選定地域はこの6年間で1地域増え、協定認定は、3団体が活動を終了したものの、新たに4団体が増える等広がりを見せてきました。

これまでの里地里山保全等の取組は、おおむね順調に進んでいるといえます。

#### 計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進	地域選定及び協定締結の促進				

#### 実績

（地域数、団体数。（ ）は累計）

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
里地里山保全等地域の選定の促進	— (21地域)	1地域 (22地域)	— (22地域)	— (22地域)	— (22地域)	— (22地域)
里地里山活動協定の締結の促進	2団体 (26団体)	2団体 (28団体)	-2団体 (26団体)	— (26団体)	— (26団体)	-1団体 (25団体)

#### 新たな選定地域



相模原市 篠原の里地域

## 2 取組実績と課題

### (1) 実績

平成26～30年度までは、条例の基本理念を踏まえ、3つの柱（里の力、まちの力、里の世話人）による施策を実施してきました。

（里の力、まちの力、里の世話人については12ページを参照）

#### ア 里の力

##### (ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進

選定地域はこの5年間で4地域増え、協定認定は毎年度1団体以上の認定が進み、8団体が増える等着実に広がりを見せてきました。

また、協定を廃止した団体がないことから、これまでの里地里山保全等の取組は順調に進んでいるといえます。

#### 計画

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進	地域選定及び協定締結の促進				

#### 実績

（地域数、団体数。（ ）は累計）

施策	H26	H27	H28	H29	H30
里地里山保全等地域の選定の促進	2地域 (19地域)	— (19地域)	1地域 (20地域)	— (20地域)	1地域 (21地域)
里地里山活動協定の締結の促進	3団体 (19団体)	1団体 (20団体)	2団体 (22団体)	1団体 (23団体)	1団体 (24団体)

#### 新たな選定地域



厚木市  
荻野地域



南足柄市  
内山地域



松田町  
寄地域



厚木市  
小鮎地

新

旧

(イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援

認定里地里山活動協定に基づいて行われる保全等の活動を促進するための支援を行い、継続的に農林地等の保全等の活動が行われました。

また、保全活動を行う上で必要となる技術向上のための研修会に参加できるよう人材育成への支援にも努めてまいりました。

計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
里地里山活動協定に基づく活動の支援	活動への支援				
	人材育成の取組への支援				

実績

(支援団体数)

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
里地里山活動協定に基づく活動の支援	24 団体	27 団体	25 団体	24 団体	24 団体	25 団体

保全等の活動

(イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援

認定里地里山活動協定に基づいて行われる保全等の活動を促進するための支援を行い、継続的に農林地等の保全等の活動が行われました。

また、保全活動を行う上で必要となる技術向上のための研修会に参加できるよう人材育成への支援にも努めてまいりました。

計画

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
里地里山活動協定に基づく活動の支援	活動への支援				
	人材育成の取組への支援				

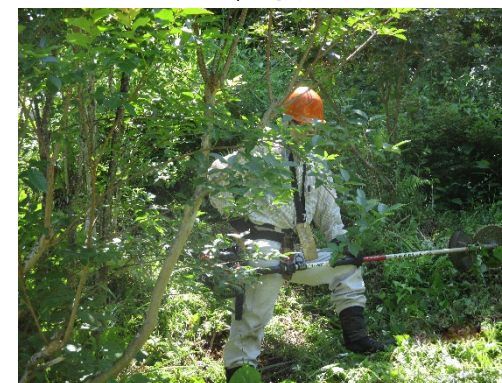
実績

(支援団体数)

施策	H26	H27	H28	H29	H30
里地里山活動協定に基づく活動の支援	18 団体	20 団体	21 団体	23 団体	23 団体

保全等の活動

草刈り



(南足柄市大雄町五本松・原地域)

稲刈り



(秦野市名古屋木地域)

イ まちの力

(ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進

「里地里山に対する理解促進」の取組として里地里山シンポジウムの開催や「里地里山にふれあう機会の提供」として子ども里地里山体験学校を計画していましたが、コロナ禍の影響もあり、計画通りの実施はできませんでした。

また、ホームページやフェイスブックに加えて、Instagramによる情報発信を実施しました。

計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
里地里山の保全等に対する県民の理解の促進	シンポジウム ●	○ 里地里山に対する理解促進	シンポジウム ●		シンポジウム ●
	体験学校 ●	○ 里地里山にふれあう機会の提供 体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●

実績

内容	2019	2020	2021	2022	2023	2024
シンポジウム	2019.12.8 (横浜市) 総数 270 名	—	—	—	—	—
体験学校	2 回 (厚木市七沢) 草取り 生き物調査 里地里山散策 カボスの収穫 木工体験等 延べ 69 名	—	—	—	—	—
イベント等の 情報発信	実施 (ホームページ)					
	実施 (フェイスブック)					
	実施 (Instagram)					

イ まちの力

(ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進

「里地里山に対する理解促進」の取組として里地里山シンポジウムの開催や「里地里山にふれあう機会の提供」として子ども里地里山体験学校を開催し、おおむねスケジュールどおりに施策を進めることができました。

計画

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
里地里山の保全等に対する県民の理解の促進	シンポジウム ●	○ 里地里山に対する理解促進	シンポジウム ●		シンポジウム ●
	体験学校 ●	○ 里地里山にふれあう機会の提供 体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●

実績

内容	H26	H27	H28	H29	H30
シンポジウム	H27. 1. 24 (川崎市) 総数 454 名	—	H29. 2. 4 (松田町) 総数 352 名	—	—
体験学校	3 回 (厚木市七沢) 田植え・稲刈り 下草刈り しめ縄作り等 延べ 122 名	3 回 (秦野市名古木) 野菜の栽培 生き物調査 里山めぐり等 延べ 66 名	—	2 回 (箱根町畑宿) 自然薯栽培 草取り 旧東海道散策 寄せ木細工等 延べ 55 名	1 回 (秦野市寺山) 蕎麦刈取り 里地里山散策 竹細工等 38 名
イベント等の 情報発信	実施 (ホームページ)				
	実施 (フェイスブック)				

新	旧
---	---

**(イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進**

「都市住民等との交流促進への支援」については活動団体が実施する都市住民との交流イベントの開催などに支援しました。「人材育成の取組への支援」については、活動団体ごとにボランティアを必要とする作業内容が異なることから、ホームページ等を通じての募集や活動団体が行う研修などの取組に対し支援を行いました。

また、「企業等との連携の促進」については、企業等に活動団体を紹介するマッチングを行い、連携したイベントの開催などの取組が行われました。進んでいます。

**計画**

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進	○ 都市住民等との交流促進への支援				
	実施				
	○ 人材育成の取組への支援 ○ ボランティアの募集				
	実施				
	○ 企業等との連携の促進				
	実施				

**実績**

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進	○ 都市住民等との交流促進への支援					
	実施					
	○ 人材育成の取組への支援 ○ ボランティアの募集					
	実施					

**実績 企業等との連携の促進**

企業等名	内容
小田急電鉄株式会社	・「金次郎のふる里を守る会（小田原市）」との秋の収穫教室（H26～R1） ・「黒川里地里山保全会（川崎市）」との里山の観察会（H27～R5） ・「蓑毛里地里山保全地域を守る会（秦野市）」との農業体験教室（H27～R5）
NPO 法人 よこはま里山研究所 等	・「小松・城北」里山をまもる会との Green Gift 地球元気プログラム（H28～R1）（東京海上日動火災保険株式会社 協賛）

**(イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進**

「都市住民等との交流促進への支援」については活動団体が実施する都市住民との交流イベントの開催などに支援しました。「人材育成の取組への支援」については、活動団体ごとにボランティアを必要とする作業内容が異なることから、統一したボランティア育成・登録の仕組みは出来ませんでした。ホームページ等を通じての募集や活動団体が行う研修などの取組に対し支援を行いました。

また、「企業等との連携の促進」については、企業等に活動団体を紹介するマッチングを行い、連携したイベントの開催などの取組が進んでいます。

**計画**

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進	○ 都市住民等との交流促進への支援 ○ 人材育成の取組への支援				
	実施				
	○ ボランティア育成・登録の仕組み				
	検討	試行	実施		
	○ 企業等との連携の促進				
	実施				

**実績**

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進	○ 都市住民等との交流促進への支援 ○ 人材育成の取組への支援				
	実施				
	○ ボランティア育成・登録の仕組み				
	検討	実施			

**実績 企業等との連携の促進**

企業等名	内容
小田急電鉄株式会社	・「金次郎のふる里を守る会（小田原市）」との菜の花まつり（H25 以前から） ・「金次郎のふる里を守る会（小田原市）」との水辺の生き物教室（H26～） ・「金次郎のふる里を守る会（小田原市）」との秋野菜の収穫教室（H26～28） ※H29～は、秋の収穫教室として開催 ・「蓑毛里地里山保全地域を守る会（秦野市）」との森の観察会（H26） ・「黒川里地里山保全会（川崎市）」との里山の観察会（H27～） ・「蓑毛里地里山保全地域を守る会（秦野市）」との農業体験教室（H27～） ・「箱根旧街道畑宿里山と清流を守る会（箱根町）」との未病改善体験イベント（旧街道石畳ウォーキング等）（H30）
NPO 法人 よこはま里山研究所 等	・「小松・城北」里山をまもる会との Green Gift 地球元気プログラム（H28～）（年 2 回開催。東京海上日動火災保険株式会社 協賛）

新	旧
---	---

### ウ 里の世話人

「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、保全等の活動が継続的なものとなるよう次の施策を講じました。

#### (ア) 里地里山のコーディネート

新規協定を目指す地元の組織や市町に制度説明を行い、活動団体の立ち上げを支援した。

##### 計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
里地里山のコーディネート	○ 里地里山のコーディネートの推進				
	実施				

##### 実績

(団体数)

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
里地里山のコーディネート	・地域選定支援 1市 ・制度説明 1市1町	・制度説明 2町-1団体	・制度説明 1町	・制度説明 2市	-	-

#### (イ) 活動団体相互の連携の強化

「活動団体の交流の促進」については、コロナ禍の影響で交流会を3年間休止しましたが、2022年度から再開し、活動団体相互での現地交流等も促進されました。

「活動に関する情報・ノウハウの共有」については、交流会と併せて事例集の作成を行い各活動団体において活用が図られました。

##### 計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
活動団体相互の連携の強化	○ 活動団体の交流の促進 ○ 活動に関する情報・ノウハウの共有				
	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●

公益社団法人 神奈川県観光協会  
・物産・観光プラザ「かながわ屋」での里地里山産品販売・パネル展示 (H26～)

### ウ 里の世話人

「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、保全等の活動が継続的なものとなるよう次の施策を講じました。

#### (ア) 里地里山のコーディネート

活動団体と都市住民等の連携を促進するために、里地里山に見識のある方が、活動団体と都市住民や行政機関等の連携、情報発信及び経済活動などの取組に対する助言等を行う、「里地里山のコーディネート」制度をつくり、里地里山の保全等を進める上での課題解決に向けた活動団体への取組を実施しました。

##### 計画

施策	H26	H27	H28	H29	H30～
里地里山のコーディネート	○ 里地里山のコーディネートの推進				
	試行		実施		

##### 実績

(団体数)

施策	H26	H27	H28	H29	H30
里地里山のコーディネート	・活動支援 4団体	・活動支援 3団体	・活動支援 4団体	・活動支援 1団体 ・新規掘り起こし支援 1団体	・活動支援 1団体 ・新規掘り起こし支援 1団体 ・地域選定支援 3市

#### (イ) 活動団体相互の連携の強化

「活動団体の交流の促進」については、計画どおり交流会を開催し、活動団体相互での現地交流等も促進されました。

「活動に関する情報・ノウハウの共有」については、事例集の作成を行い各活動団体において活用が図られました。

施策		H26	H27	H28	H29	H30～
活動団体相互の連携の強化	計画	○ 活動団体の交流の促進 ○ 活動に関する情報・ノウハウの共有				
		交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●

新	旧
---	---

実績

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	-	-	-	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●

(ウ) 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進

大学等と連携した「保全等の効果の検証・評価」及び「保全等の手法の調査・研究」については、**コロナ禍の影響もあり、実施はできませんでした。**

計画

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進		○ 保全等の効果の検証・評価 ○ 保全等の手法の調査・研究			
			研究成果発表 ●		研究成果発表 ●

実績

施策	2019	2020	2021	2022	2023	2024
大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進	-	-	-	-	-	-

実績

交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

(ウ) 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進

「保全等の効果の検証・評価」及び「保全等の手法の調査・研究」については、平成 27、28 年度に横浜国立大学と連携して里地里山の保全等の効果や手法の有効性に関する調査・研究を実施し、条例にもとづく里地里山の保全、再生、活用の取組により、多面的な効果が徐々に発現してきており、当該施策の妥当性についての評価が得られました。

また、里地里山の公益的なサービスの意義を行政や社会がしっかりと受け止め、市民に広く呼びかけて、保全活動のネットワークを拡大していく必要があるとの報告を受けました。

さらに、調査・研究成果については、「シンポジウム」の場などを通じて県民や活動団体に情報発信を行ないました。

施策		H26	H27	H28	H29	H30～
大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進	計画	○ 保全等の効果の検証・評価 ○ 保全等の手法の調査・研究				
		検討				
			研究成果発表 ●		研究成果発表 ●	
	実績	検討	調査・研究			
		研究成果発表 ●		研究成果発表 ●		



(H29 海老名市)



(H28 松田町「里地里山シンポジウム」)



新		旧
---	--	---

## (2) 課題

これまでの指針の取組実績などから、施策の方向別に次のような課題が見えてきました。

### ア 里の力

本県都市部の人口は増加しているが、その他の地域では減少がみられ、里地里山の保全等の活動を行う団体においても若い世代の担い手が増えず高齢化が進んでいます。

また、活動の中心となる方達の善意と強い責任感によって保全活動がなされてきた事実は否めず、活動に関わる人々の減少に伴い、保全のための資機材確保や理解を深めるためのイベント開催など、活動を継続していく上で必要となる資金の不足が顕在化してきています。

このように、新たな担い手の確保が進まないことによる人手不足や、活動資金不足などは、前回指針改定時から解決すべき問題であり、**活動を停止するが困難となる団体も現れるなど**、継続した活動が危惧される状態となっています。

里地里山の多面的機能を発揮させ、次世代へ継承していくという条例の目的を達成するため、今後とも里地里山保全等地域の選定や、里地里山活動協定の認定を促進し、活動を継続していくために必要な担い手確保や資金不足の解消を図ることが課題となっています。

### イ まちの力

イベント等を通じて里地里山の保全等の重要性への理解は進んできていますが、里地里山の保全等に関心の低い方々への理解が進んでいないと考えられます。

また、里地里山の保全等の活動内容や、活動への参加方法など、まちの人々が里地里山に関わるための具体的な情報提供が不足しており、十分な参加がされていない状況です。

条例の目的を達成していくためには、里地里山に関する様々な情報を多くの県民や企業や大学等へ積極的に提供し、さらには小学校等の教育現場で里地里山が持つ多面的機能の意味や保全の意義を伝え、活動への参加を促進していくことが課題となっています。

### ウ 里の世話人

里地里山の活動団体では、活動を推進していくための専門的アドバイスや、活動を継続的に支援してくれる県民や企業等との連携強化に対するニーズがあります。

そこで、地域や活動団体の課題に即して、実践的かつ機動的に助言や調整を行うため、里地里山を総合的にコーディネートする仕組みを作り、支援しているところです。

しかし、里地里山の保全等を行うためには、担い手不足の解消や地域内での活動に対する理解を得ることも必要となってきたため、自治会や地域で他の活動を行っている団体等との連携を図ることが課題となっています。

## (2) 課題

これまでの指針の取組実績などから、施策の方向別に次のような課題が見えてきました。

### ア 里の力

本県都市部の人口は増加しているが、その他の地域では減少がみられ、里地里山の保全等の活動を行う団体においても若い世代の担い手が増えず高齢化が進んでいます。

また、活動の中心となる方達の善意と強い責任感によって保全活動がなされてきた事実は否めず、活動に関わる人々の減少に伴い、保全のための資機材確保や理解を深めるためのイベント開催など、活動を継続していく上で必要となる資金の不足が顕在化してきています。

このように、新たな担い手の確保が進まないことによる人手不足や、活動資金不足などは、前回指針改定時から解決すべき問題であり、継続した活動が危惧される状態となっています。

里地里山の多面的機能を発揮させ、次世代へ継承していくという条例の目的を達成するため、今後とも里地里山保全等地域の選定や、里地里山活動協定の認定を促進し、活動を継続していくために必要な担い手確保や資金不足の解消を図ることが課題となっています。

### イ まちの力

イベント等を通じて里地里山の保全等の重要性への理解は進んできていますが、里地里山の保全等に関心の低い方々への理解が進んでいないと考えられます。

また、里地里山の保全等の活動内容や、活動への参加方法など、まちの人々が里地里山に関わるための具体的な情報提供が不足しており、十分な参加がされていない状況です。

条例の目的を達成していくためには、里地里山に関する様々な情報を多くの県民や企業等へ積極的に提供し、さらには小学校等の教育現場で里地里山が持つ多面的機能の意味や保全の意義を伝え、活動への参加を促進していくことが課題となっています。

### ウ 里の世話人

里地里山の活動団体では、活動を推進していくための専門的アドバイスや、活動を継続的に支援してくれる県民や企業等との連携強化に対するニーズがあります。

そこで、地域や活動団体の課題に即して、実践的かつ機動的に助言や調整を行うため、里地里山を総合的にコーディネートする仕組みを作り、支援しているところです。

しかし、里地里山の保全等を行うためには、担い手不足の解消や地域内での活動に対する理解を得ることも必要となってきたため、自治会や地域で他の活動を行っている団体等との連携を図ることが課題となっています。

### 3 かながわの里地里山のめざす姿と施策の方向

#### (1) かながわの里地里山のめざす姿

県は、様々な特色に彩られた里地里山が身近に存在し、県民がその多面的機能の豊かな恵みに触れることにより、生き生きとした潤いのある生活を送ることができるよう、「人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる里地里山」を目指します。

#### (2) 施策の方向

##### ア 施策の方向

(1) の「かながわの里地里山のめざす姿」を実現するための施策は、条例第3条に定める三つの基本理念

- 1 土地所有者等及び地域住民の主体性の尊重
- 2 土地所有者等、県民、県、市町村等の相互の連携及び協働
- 3 地域の農林業の営みを尊重した継続的な保全等

や、これまでの実績や課題を踏まえ、次の方向で推進することとします。

##### (ア) 里の力 ～地域の人々に守られている里地里山～

里地里山は、地形や気候といった、その土地固有の自然と人が共生する中で形成されてきたものであり、人々の生活様式や農林業の営みも、地域によって独特のものがああります。

このため、**農林業の営みが見られる「里」に住む人々や、その地域の特性などをよく理解し、地域に愛着を持つ人々**を主体とした保全等の継続的な活動が推進されるよう、今までの施策に加えて地域や活動団体の経済的な取組に対する必要な施策を講じます。

##### (イ) まちの力 ～みんなに大切にされている里地里山～

里地里山の多面的機能のもたらす恵みは、「里」の人々だけではなく、里地里山以外の「まち」の人々にも広く享受されています。

このため、「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対するより一層の理解と里地里山の保全等の活動への参加を促進し、企業や大学等も含めた「まち」と「里」の人々とが相互に連携・協働した保全等の取組が推進されるよう、必要な施策を講じます。

##### (ウ) 里の世話人 ～里地里山のコーディネーター

里地里山の多面的機能を発揮させ、これを次世代へ継承していくためには、里地里山の保全等が世代を超えて継続的な活動として行われる必要があります。

このため、「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、これらを効果的に結び付けるための連携の強化などの取組を促進し、保全等の活動が里の力の施策として継

### 3 かながわの里地里山のめざす姿と施策の方向

#### (1) かながわの里地里山のめざす姿

県は、様々な特色に彩られた里地里山が身近に存在し、県民がその多面的機能の豊かな恵みに触れることにより、生き生きとした潤いのある生活を送ることができるよう、「人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる里地里山」を目指します。

#### (2) 施策の方向

##### ア 施策の方向

(1) の「かながわの里地里山のめざす姿」を実現するための施策は、条例第3条に定める三つの基本理念

- 1 土地所有者等及び地域住民の主体性の尊重
- 2 土地所有者等、県民、県、市町村等の相互の連携及び協働
- 3 地域の農林業の営みを尊重した継続的な保全等

や、これまでの実績や課題を踏まえ、次の方向で推進することとします。

##### (ア) 里の力 ～地域の人々に守られている里地里山～

里地里山は、地形や気候といった、その土地固有の自然と人が共生する中で形成されてきたものであり、人々の生活様式や農林業の営みも、地域によって独特のものがああります。

このため、「里」に住み、農林業を営み、その地域の特性などをよく理解し、地域に愛着を持つ人々を主体とした保全等の継続的な活動が推進されるよう、今までの施策に加えて地域や活動団体の経済的な取組に対する必要な施策を講じます。

##### (イ) まちの力 ～みんなに大切にされている里地里山～

里地里山の多面的機能のもたらす恵みは、「里」の人々だけではなく、里地里山以外の「まち」の人々にも広く享受されています。

このため、「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対するより一層の理解と里地里山の保全等の活動への参加を促進し、企業や大学等も含めた「まち」と「里」の人々とが相互に連携・協働した保全等の取組が推進されるよう、必要な施策を講じます。

##### (ウ) 里の世話人 ～里地里山のコーディネーター

里地里山の多面的機能を発揮させ、これを次世代へ継承していくためには、里地里山の保全等が世代を超えて継続的な活動として行われる必要があります。

このため、「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、これらを効果的に結び付けるための連携の強化などの取組を促進し、保全等の活動が里の力の施策として継続的なものとなるよう、必要な施策を講じます。

新

旧

継続的なものとなるよう、必要な施策を講じます。

イ 重点的に取り組む事項

課題	重点的に取り組む事項
保全のための資金確保	交流促進
情報不足	情報発信
担い手不足	連携強化

具体的な取組内容

- ・里地里山の地域資源を活用した交流の促進
- ・市町村や企業等と連携やSNSなどを活用した情報発信
- ・企業、大学、自治会等の地域団体などとの連携強化

イ 重点的に取り組む事項

課題	重点的に取り組む事項
保全のための資金確保	交流促進
理解不足	情報発信
担い手不足	連携強化

具体的な取組内容

- ・里地里山の地域資源を活用した交流の促進
- ・市町村や企業等と連携した様々な主体からの情報発信
- ・自治会等の地域団体との連携強化

菜の花まつり



(小田原市栗宿地域)

森林セラピーめぐり



(秦野市菩提地域)

ざる菊まつり



(南足柄市大庭町五本松一原地域)

めざす姿と施策の方向の概念図

めざす姿と施策の方向の概念図

めざす姿

人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる「里地里山」

めざす姿

人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる「里地里山」

里の力

- 里地里山保全等地域の選定と里地里山活動協定の締結の促進
- 里地里山活動協定に基づく活動への支援  
(地域資源を活用した交流の促進)

里の力

- 里地里山保全等地域の選定と里地里山活動協定の締結の促進
- 里地里山活動協定に基づく活動への支援  
(地域資源を活用した交流の促進)

まちの力

- 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進
- 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進  
(企業・大学等との連携強化)

まちの力

- 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進
- 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進  
(様々な主体からの情報発信)

里の世話人

- 里地里山のコーディネート  
(地域団体との連携強化)
- 活動団体相互の連携の強化

里の世話人

- 里地里山のコーディネート  
(地域団体との連携強化)
- 活動団体相互の連携の強化
- 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進

コーディネート

コーディネート

※ ( ) は、重点的に取り組む事項

※ ( ) は、重点的に取り組む事項

新		旧
<p><b>ウ 施策展開の視点</b></p> <p>アの「施策の方向」に基づいた施策は、里地里山の保全等の活動の特性や現状と、イの重点的に取り組む事項を踏まえて、次の三つの視点に立って展開する必要があります。</p> <p><b>(ア) 保全、再生及び活用の一体性及び継続性</b></p> <p>里地里山が「保全」され多面的機能が発揮されることにより、その機能を利用し「持続可能な開発のための教育 ESD」への取組を含めた環境学習や自然体験等の「活用」が可能になり、これによって地域住民や県民の理解が深まり、地域住民や県民の「保全」の活動への参加が促進され、活動が継続的なものとなっていきます。</p> <p>また、既に多面的機能が低下している里地里山では「再生」を行うことにより、十分にその機能が発揮されることとなり、「再生」から「保全」や「活用」が行われることによって、地域的な広がりや次世代への継承が可能となります。こうした取組は、持続可能な開発目標 SDGs の達成にもつながるものです。</p> <p>このようなことから、これらの活動を一体的に「保全等」としてとらえるとともに、里地里山の資源を活用した<b>交流事業など</b>経済的活動を取り入れることや、里地里山の保全等の活動を担う次世代の人材育成を行うこと、そして里地里山の多面的機能の重要性を周知し、企業や大学等を含めた「まち」の人々の積極的な活動への参加を促進するなど、継続的な活動となるよう施策を展開する必要があります。</p> <p><b>(イ) 保全等の活動がもたらす多様な効果</b></p> <p>県が平成 21 年度から行った里地里山保全等促進事業（認定協定活動団体支援事業）等により実施された保全等の活動は、田んぼの復元や農業体験などの農林業の活動や、それらを通じた県土の保全、地元小学生による生きもの調査などの教育分野での活動、貴重な生きものや多様な生きもの生育環境の保全など環境に関する分野、観光行事の開催や体験型ツーリズムの実施などの観光分野、運動と社会参加の場を提供する未病改善分野、そして伝統的なお祭りや生活文化などの地域づくりの活動、さらに企業の CSR 活動の場としてなど、多様な展開が図られました。</p> <p>このような活動の多様性を踏まえ、その活動を円滑に推進していくためには、これらに関わる多様な分野にわたる主体の連携や協働が対等な協力関係のもとに行われ、更には女性の主体的な参画、企業や大学をはじめとした教育機関等や多様な人々の参画による活動が行われるよう、施策を展開する必要があります。</p>		<p><b>ウ 施策展開の視点</b></p> <p>アの「施策の方向」に基づいた施策は、里地里山の保全等の活動の特性や現状と、イの重点的に取り組む事項を踏まえて、次の三つの視点に立って展開する必要があります。</p> <p><b>(ア) 保全、再生及び活用の一体性及び継続性</b></p> <p>里地里山が「保全」され多面的機能が発揮されることにより、その機能を利用し「持続可能な開発のための教育 ESD」への取組を含めた環境学習や自然体験等の「活用」が可能になり、これによって地域住民や県民の理解が深まり、地域住民や県民の「保全」の活動への参加が促進され、活動が継続的なものとなっていきます。</p> <p>また、既に多面的機能が低下している里地里山では「再生」を行うことにより、十分にその機能が発揮されることとなり、「再生」から「保全」や「活用」が行われることによって、地域的な広がりや次世代への継承が可能となります。こうした取組は、持続可能な開発目標 SDGs の達成にもつながるものです。</p> <p>このようなことから、これらの活動を一体的に「保全等」としてとらえるとともに、里地里山の資源を活用した<b>経済的活動</b>を取り入れることや、里地里山の保全等の活動を担う次世代の人材育成を行うこと、そして里地里山の多面的機能の重要性を周知し、企業や大学等を含めた「まち」の人々の積極的な活動への参加を促進するなど、継続的な活動となるよう施策を展開する必要があります。</p> <p><b>(イ) 保全等の活動がもたらす多様な効果</b></p> <p>県が平成 21 年度から行った里地里山保全等促進事業（認定協定活動団体支援事業）等により実施された保全等の活動は、田んぼの復元や農業体験などの農林業の活動や、それらを通じた県土の保全、地元小学生による生きもの調査などの教育分野での活動、貴重な生きものや多様な生きもの生育環境の保全など環境に関する分野、観光行事の開催や体験型ツーリズムの実施などの観光分野、運動と社会参加の場を提供する未病改善分野、そして伝統的なお祭りや生活文化などの地域づくりの活動、さらに企業の CSR 活動の場としてなど、多様な展開が図られました。</p> <p>このような活動の多様性を踏まえ、その活動を円滑に推進していくためには、これらに関わる多様な分野にわたる主体の連携や協働が対等な協力関係のもとに行われ、更には女性の主体的な参画、企業や大学をはじめとした教育機関等や多様な人々の参画による活動が行われるよう、施策を展開する必要があります。</p>

保全等の活動がもたらす多様な効果

保全等の活動がもたらす多様な効果

県土の保全

洪水・土砂崩壊など  
災害の防止

県土の保全

洪水・土砂崩壊など  
災害の防止

農林業

田んぼの再生、米や麦・大豆づくり、  
雑木林等二次林の保全、間伐材利用、  
農林産物の販売、鳥獣被害防止  
農林業体験

農林業

田んぼの再生、米や麦・大豆づくり、  
雑木林等二次林の保全、間伐材利用、  
農林産物の販売、鳥獣被害防止  
農林業体験

環境

生物多様性の保全  
良好な農村景色の形成  
地下水かん養  
温暖化の軽減

環境

生物多様性の保全  
良好な農村景色の形成  
地下水かん養  
温暖化の軽減

観光

地域のお祭り等のPR  
里地里山ツーリズム  
農林業体験  
ハイキング  
土産品の販売

観光

地域のお祭り等のPR  
里地里山ツーリズム  
農林業体験  
ハイキング  
土産品の販売

里地里山  
の  
保全等

里地里山  
の  
保全等

教育

青少年の自然体験や  
農文化体験（食農教育）  
生きものとのふれあい  
暮らしの作法

教育

青少年の自然体験や  
農文化体験（食農教育）  
生きものとのふれあい  
暮らしの作法

地域づくり

世代間交流  
地域資源の発掘  
郷土料理や伝統文化の継承  
新たな里地里山文化の創造

地域づくり

世代間交流  
地域資源の発掘  
郷土料理や伝統文化の継承  
新たな里地里山文化の創造

健康・福祉

多様な人々の社会参加と未病改善  
高齢者の生きがい  
子どもたちの遊び  
福利厚生、森林里山セラピー

健康・福祉

多様な人々の社会参加と未病改善  
高齢者の生きがい  
子どもたちの遊び  
福利厚生、森林里山セラピー

(ウ) 保全等の活動の検証・評価

里地里山の多面的機能の発揮及び次世代への継承を図るためには、様々な人々が関わり「里の力」・「まちの力」と「里の世話人」が強く結びつき、保全等の活動を継続していくことが重要です。

また、その活動により生態系が保たれたとか、景観が保全されたなど、農林地等の保全により、多面的機能の発揮にどのような効果があったのかを検証し、評価を行い、その結果を明らかにすることは、「里」と「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対する理解や、積極的な保全活動への参加を促進するためにも重要です。

里地里山の情報発信

「かながわの里地里山」ホームページ・フェイスブック

ホームページ、フェイスブック及びInstagramで里地里山の保全に関する取組を紹介しています。

県の事業のほか、地域の里地里山のお祭りやイベント情報等を発信しています。



かながわの里地里山

里地里山は、農林業の生産の場としてだけでなく、良好な景観や、様々な生物の生息の場、災害防止、伝統的な生活文化の伝承など、里地里山は、多面的な機能を有しています。かながわの里地里山を保全する取組についてご紹介しま



「かながわの里地里山」フェイスブック・Instagramやっています！

「かながわの里地里山」フェイスブック・Instagramでは、里地里山の保全をしている活動団体の最新情報を発信しています。

かながわの里地里山イメージキャラクター「さとっちゃん」からのお知らせを見に来てください！

- よくみられているページ
● 教員採用
● 真職員採用
● 上下水道料金のお支払い方法



かながわの里地里山イメージキャラクター「さとっちゃん」

「さとっちゃん」が県内の里地里山情報をわかりやすく発信中！

【ホームページ】

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300562/index.html



【フェイスブック】

https://www.facebook.com/kanagawa.satoyama/



【Instagram】

https://www.instagram.com/satochisatoyama\_kanagawa/



(ウ) 保全等の活動の検証・評価

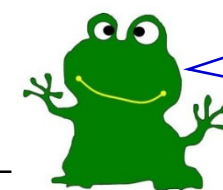
里地里山の多面的機能の発揮及び次世代への継承を図るためには、様々な人々が関わり「里の力」・「まちの力」と「里の世話人」が強く結びつき、保全等の活動を継続していくことが重要です。

また、その活動により生態系が保たれたとか、景観が保全されたなど、農林地等の保全により、多面的機能の発揮にどのような効果があったのかを検証し、評価を行い、その結果を明らかにすることは、「里」と「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対する理解や、積極的な保全活動への参加を促進するためにも重要です。

里地里山の情報発信

「かながわの里地里山」ホームページ・フェイスブック

ホームページとフェイスブックで里地里山の保全に関する取組を紹介しています。県の事業のほか、地域の里地里山のお祭りやイベント情報等を発信しています。



かながわの里地里山イメージキャラクター「さとっちゃん」です！

【ホームペー

http://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300562/



【フェイスブック】

https://www.facebook.com/kanagawa.satoyama



(3) 主な取組

(2) のア「施策の方向」、イ「重点的に取り組む事項」及びウの「施策展開の視点」を踏まえ、今後(2025～2029年度以降)取り組む施策、スケジュールを次のとおりとします。

施策体系

めざす姿

施策の方向と主な取組

ア

人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる「里地里山」

ア

里の力

～地域の人々に守られている里地里山～

- (ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進
  - a 保全等の機運醸成の取組への支援
  - b 地域の合意形成や保全等の方針づくりへの支援
  - c 里地里山活動協定の締結の促進への支援
- (イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援
  - a 里地里山保全等の活動への支援
  - b 人材育成の取組への支援

イ

まちの力

～みんなに大切にされている里地里山～

- (ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進
  - a 里地里山に対する理解促進
  - b 里地里山にふれあう機会の提供
- (イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進
  - a 都市住民等との交流促進への支援
  - b 人材育成の取組への支援
  - c 企業や大学をはじめとした多様な主体との連携の促進

ウ

里の世話人

～里地里山のコーディネート～

- (ア) 里地里山のコーディネート
  - a 里地里山のコーディネートの推進
- (イ) 活動団体相互の連携の強化
  - a 活動団体の交流の促進
  - b 活動に関する情報・ノウハウの共有

(3) 主な取組

(2) のア「施策の方向」、イ「重点的に取り組む事項」及びウの「施策展開の視点」を踏まえ、今後(2019～2023年度以降)取り組む施策、スケジュールを次のとおりとします。

施策体系

めざす姿

施策の方向と主な取組

ア

人々に豊かな恵みと潤いを与え、未来に引き継がれる「里地里山」

ア

里の力

～地域の人々に守られている里地里山～

- (ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進
  - a 保全等の機運醸成の取組への支援
  - b 地域の合意形成や保全等の方針づくりへの支援
  - c 里地里山活動協定の締結の促進への支援
- (イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援
  - a 里地里山保全等の活動への支援
  - b 人材育成の取組への支援

イ

まちの力

～みんなに大切にされている里地里山～

- (ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進
  - a 里地里山に対する理解促進
  - b 里地里山にふれあう機会の提供
- (イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進
  - a 都市住民等との交流促進への支援
  - b 人材育成の取組への支援
  - c 企業や大学をはじめとした教育機関等との連携の促進

ウ

里の世話人

～里地里山のコーディネート～

- (ア) 里地里山のコーディネート
  - a 里地里山のコーディネートの推進
- (イ) 活動団体相互の連携の強化
  - a 活動団体の交流の促進
  - b 活動に関する情報・ノウハウの共有
- (ウ) 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進
  - a 保全等の効果の検証・評価
  - b 保全等の手法の調査・研究



**ア 里の力 ～地域の人々に守られている里地里山～**

「里」に住み、農林業を営み、その地域の特性などを良く理解した、地域に愛着を持つ人々を主体とした保全等の継続的な活動が推進されるよう、次の施策を講じます。  
また、地域選定及び協定認定の数を増やし、活動を広げていきます。

(ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進

a 保全等の機運醸成の取組への支援

里地里山の保全等の活動のきっかけづくりや機運の醸成を図るため、情報収集や市町村への働きかけを行うなど、市町村が実施する取組に対して助言や協力をを行います。

b 地域の合意形成や保全等の方針づくりへの支援

土地所有者等や地域住民が主体となった保全等の活動に向けた地域の合意形成を図るため、市町村が実施する地域資源の現状や保全等に向けた課題等の調査、ワークショップ等の開催、保全等の方針の策定などの取組に対して助言や協力をを行います。

c 里地里山活動協定の締結の促進への支援

里地里山活動協定の締結の促進を図るため、市町村が実施する活動団体づくり、活動計画の策定に必要な調査、地元調整などの取組を支援するとともに、円滑な協定の締結に向けた助言や協力をを行います。

(イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援

a 里地里山保全等の活動への支援

認定里地里山活動協定に基づいて行われる保全等の活動を促進するため、活動団体が行う農林地の保全等の活動や、継続的な活動を促進するため、観光を取り入れた地域資源の活用を図るなどの経済的な取組を多面的に支援します。

**ア 里の力 ～地域の人々に守られている里地里山～**

「里」に住み、農林業を営み、その地域の特性などを良く理解した、地域に愛着を持つ人々を主体とした保全等の継続的な活動が推進されるよう、次の施策を講じます。  
また、地域選定及び協定認定の数を増やし、活動を広げていきます。

(ア) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進

a 保全等の機運醸成の取組への支援

里地里山の保全等の活動のきっかけづくりや機運の醸成を図るため、情報収集や市町村への働きかけを行うなど、市町村が実施する取組に対して助言や協力をを行います。



選定地域候補地の確認

b 地域の合意形成や保全等の方針づくりへの支援

土地所有者等や地域住民が主体となった保全等の活動に向けた地域の合意形成を図るため、市町村が実施する地域資源の現状や保全等に向けた課題等の調査、ワークショップ等の開催、保全等の方針の策定などの取組に対して助言や協力をを行います。

c 里地里山活動協定の締結の促進への支援

里地里山活動協定の締結の促進を図るため、市町村が実施する活動団体づくり、活動計画の策定に必要な調査、地元調整などの取組を支援するとともに、円滑な協定の締結に向けた助言や協力をを行います。



活動協定地の確認

(イ) 里地里山活動協定に基づく活動の支援

a 里地里山保全等の活動への支援

認定里地里山活動協定に基づいて行われる保全等の活動を促進するため、活動団体が行う農林地の保全等の活動や、継続的な活動を促進するため、観光を取り入れた地域資源の活用を図るなどの経済的な取組を多面的に支援します。

農林地の活用（生きもの調



（小田原市東栢山地域）

地域資源の活用（ざる菊まつ



り）（南足柄市矢倉沢地域）

b 人材育成の取組への支援

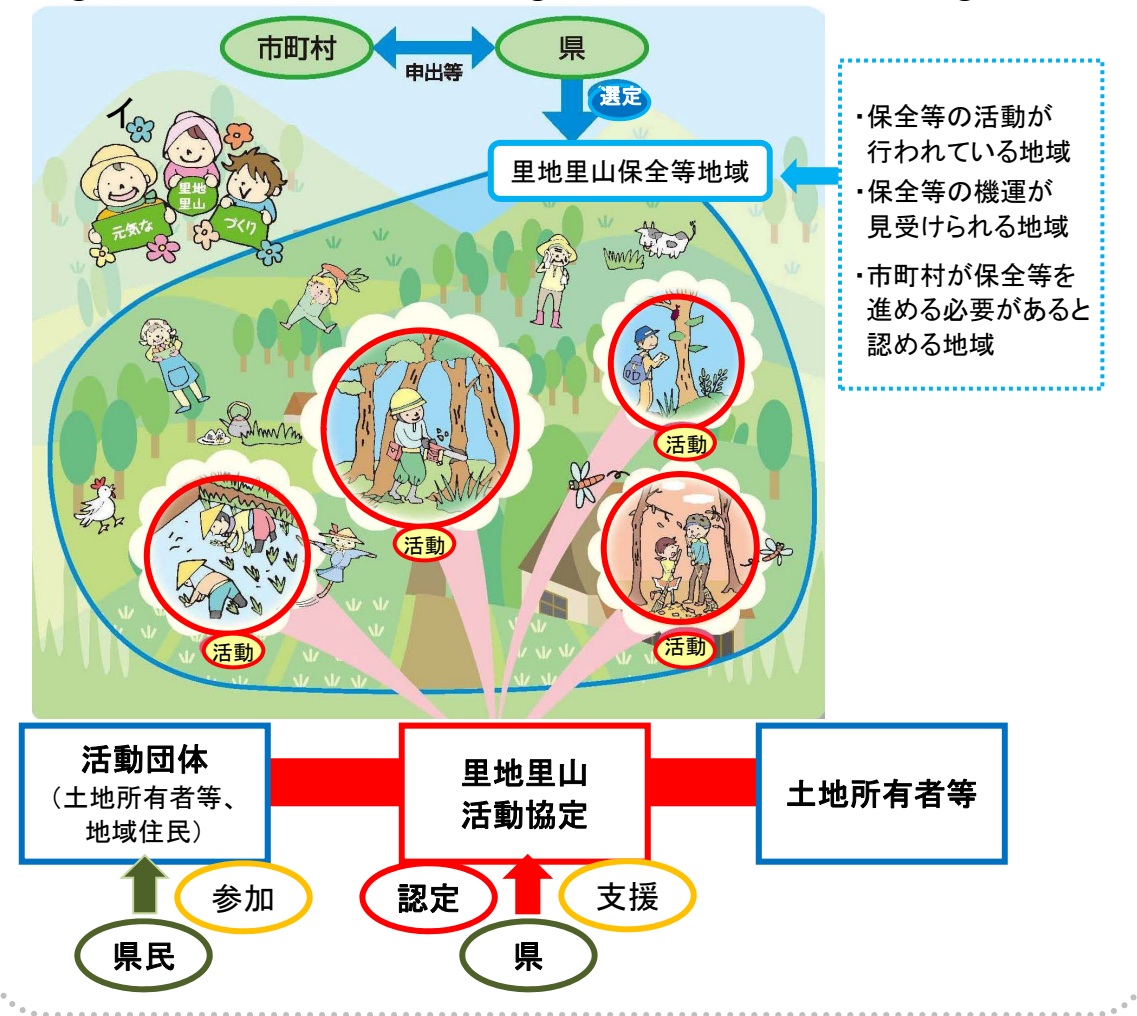
活動団体の活動を支える中心的な人材の確保や担い手の育成を通じて活動を継続的なものとするため、活動団体が行う活動のリーダーの育成、初心者講習会、技術研修会など多様な人材育成の取組を支援します。

スケジュール

施策	2025	2026	2027	2028	2029～
(7) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進	地域選定及び協定締結の促進				
(1) 里地里山活動協定に基づく活動の支援	活動への支援				
	人材育成の取組への支援				

条例による里地里山保全等地域の選定、里地里山活動協定の認定等の仕組み

①里地里山保全等地域の選定 ▶ ②里地里山活動協定の認定 ▶ ③活動支援



b 人材育成の取組への支援

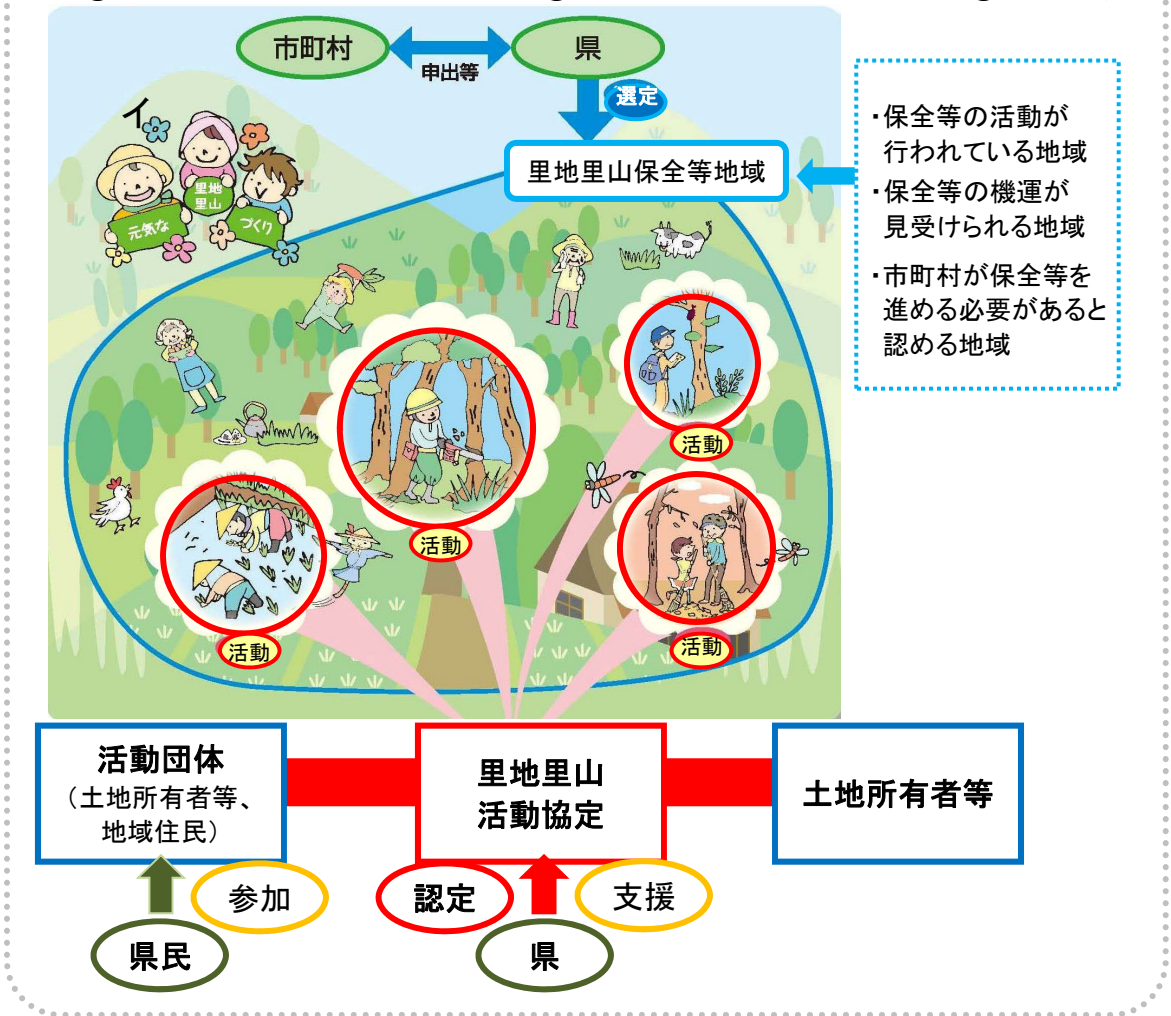
活動団体の活動を支える中心的な人材の確保や担い手の育成を通じて活動を継続的なものとするため、活動団体が行う活動のリーダーの育成、初心者講習会、技術研修会など多様な人材育成の取組を支援します。

スケジュール

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
(7) 里地里山保全等地域の選定及び里地里山活動協定の締結の促進	地域選定及び協定締結の促進				
(1) 里地里山活動協定に基づく活動の支援	活動への支援				
	人材育成の取組への支援				

条例による里地里山保全等地域の選定、里地里山活動協定の認定等の仕組み

①里地里山保全等地域の選定 ▶ ②里地里山活動協定の認定 ▶ ③活動支援



新	旧
---	---

**イ まちの力 ～みんなに大切にされている里地里山～**

「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対するより一層の理解と里地里山の保全等の活動への参加を促進し、「まち」と「里」の人々などが相互に連携・協働した保全等の取組が推進されるよう、次の施策を講じます。

**(ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進**

**a 里地里山に対する理解促進**

教育機関や市町村との連携強化や SNS などの活用などにより積極的な情報発信を図り、県民に対するかながわの里地里山の理解促進に努めます。

**b 里地里山にふれあう機会の提供**

活動団体が行う次世代への啓発活動や地域資源を生かした観光などの取組を支援することにより、県民が里地里山にふれあう機会を提供します。

**(イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進**

**a 都市住民等との交流促進への支援**

都市住民等と活動団体との相互理解を深めるため、活動団体が実施する消費者団体や都市住民等へのPR活動や交流イベントの開催、情報発信などの取組を支援します。

**b 人材育成の取組への支援**

都市住民等の里地里山の保全等の活動への参画を図るため、ボランティアの募集を進める他、活動団体が都市住民等に対して実施する初心者講習会、技術研修会、ボランティアリーダーの育成などの人材育成の取組を支援します。

**イ まちの力 ～みんなに大切にされている里地里山～**

「まち」の人々の里地里山の多面的機能の重要性に対するより一層の理解と里地里山の保全等の活動への参加を促進し、「まち」と「里」の人々などが相互に連携・協働した保全等の取組が推進されるよう、次の施策を講じます。

**(ア) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進**

**a 里地里山に対する理解促進**

里地里山シンポジウムの開催、教育機関や市町村との連携強化などにより積極的な情報発信を図り、県民に対するかながわの里地里山の理解促進に努めます。

**b 里地里山にふれあう機会の提供**

子ども里地里山体験学校等の様々な里地里山体験の取組を進めるとともに、活動団体が行う地域資源を生かした観光などの取組を支援することにより、県民が里地里山にふれあう機会を提供します。

**(イ) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進**

**a 都市住民等との交流促進への支援**

都市住民等と活動団体との相互理解を深めるため、活動団体が実施する消費者団体や都市住民等へのPR活動や交流イベントの開催、情報発信などの取組を支援します。

**b 人材育成の取組への支援**

都市住民等の里地里山の保全等の活動への参画を図るため、ボランティアの募集を進める他、活動団体が実施する初心者講習会や技術研修会などの人材育成の取組を支援します。

里地里山シンポジウム



(H28 松田町)

子ども里地里山体験学校



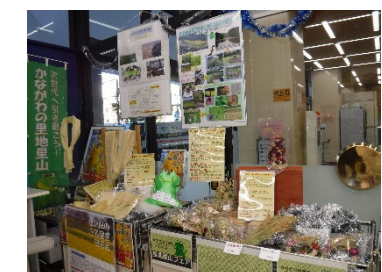
(H30 秦野市寺山地域)

かながわ食育フェス



(H30 そごう横浜店)

里地里山フェア



(H29 かながわ屋)

c 企業や大学をはじめとした**多様な主体**との連携の促進

企業や大学等に対して、**ボランティアとしての里地里山活動への参加を働きかけるなど**、活動団体と企業・大学等の**多様な主体**との連携を促進します。

スケジュール

施策	2025	2026	2027	2028	2029～
(7) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進		○ 里地里山に対する理解促進			
	実施				
(4) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進		○ 里地里山にふれあう機会の提供			
	実施				
(4) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進		○ 都市住民等との交流促進への支援			
	実施				
		○ 人材育成の取組への支援 ○ ボランティアの募集			
(4) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進		○ 企業等や大学をはじめとした <b>多様な主体</b> との連携の促進			
	実施				

c 企業や大学をはじめとした**教育機関等**との連携の促進

企業や大学等の多様な主体の知識やノウハウ等を、里地里山の保全等の活動に生かすため、活動団体と企業・大学をはじめとした**教育機関等**との連携を促進します。

スケジュール

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
(7) 里地里山の保全等に対する県民の理解の促進	シンポジウム ●	○ 里地里山に対する理解促進	シンポジウム ●		シンポジウム ●
	体験学校 ●	○ 里地里山にふれあう機会の提供 体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●	体験学校 ●
(4) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進		○ 都市住民等との交流促進への支援			
	実施				
		○ 人材育成の取組への支援 ○ ボランティアの募集			
(4) 都市住民等の里地里山の保全等への参加の促進		○ 企業等や大学をはじめとした <b>教育機関等</b> との連携の促進			
	実施				

企業連携イベント



(H30 相模原市城山町小松・城北地域)

企業連携イベント



(H30 秦野市蓑毛地域)

JICA 青年研修現地視察



(H29 厚木市七沢地域)

企業連携イベント



(H29 川崎市黒川地域)

### ウ 里の世話人 ～里地里山のコーディネート～

「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、これらを効果的に結び付けるための連携の強化などの取組を促進し、保全等の活動が継続的なものとなるよう、次の施策を講じます。

#### (ア) 里地里山のコーディネート

##### a 里地里山のコーディネートの推進

活動を進める上での様々な課題を解決したり、活動団体と都市住民等の連携を促進するために、**専門家や市町村及び県の担当者が**実践的かつ機動的な助言や調整を行います。

#### コーディネートの内容（例）

- ・里地里山の保全等の活動の機運醸成や合意形成の取組に向けた、地域住民、行政、都市住民等との調整
- ・里地里山の保全等の継続的な活動に向けた、自治会などの地域の団体や企業、大学をはじめとした**多様な主体**との連携、情報発信や経済的活動などの取組への助言

#### (イ) 活動団体相互の連携の強化

##### a 活動団体の交流の促進

県内の活動団体が参加する交流会等を開催し、活動団体間の相互理解を深め、共通の課題についての意見交換を行うなど連携の強化を図ります。

##### b 活動に関する情報・ノウハウの共有

里地里山の保全等の活動の事例やノウハウを収集・蓄積し、活動団体間で共有・活用できる資料として整備します。

### ウ 里の世話人 ～里地里山のコーディネート～

「里の力」や「まちの力」を十分に発揮させ、これらを効果的に結び付けるための連携の強化などの取組を促進し、保全等の活動が継続的なものとなるよう、次の施策を講じます。

#### (ア) 里地里山のコーディネート

##### a 里地里山のコーディネートの推進

活動を進める上での様々な課題を解決したり、活動団体と都市住民等の連携を促進するために、実践的かつ機動的な助言や調整を行います。

#### コーディネートの内容（例）

- ・里地里山の保全等の活動の機運醸成や合意形成の取組に向けた、地域住民、行政、都市住民等との調整
- ・里地里山の保全等の継続的な活動に向けた、自治会などの地域の団体や企業、大学をはじめとした教育機関等との連携、情報発信や経済的活動などの取組への助言

#### 活動団体交流会



(H30 小田原市)

#### (イ) 活動団体相互の連携の強化

##### a 活動団体の交流の促進

県内の活動団体が参加する交流会等を開催し、活動団体間の相互理解を深め、共通の課題についての意見交換を行うなど連携の強化を図ります。

##### b 活動に関する情報・ノウハウの共有

里地里山の保全等の活動の事例やノウハウを収集・蓄積し、活動団体間で共有・活用できる資料として整備します。

#### (ウ) 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進

##### a 保全等の効果の検証・評価

里地里山の保全等の継続的な活動を促進するため、活動の効果について、大学・研究機関等と連携し、里地里山の多面的機能の観点から検証・評価し、活動団体にフィードバックします。

また、県民や企業等の里地里山の保全等の活動に対する理解と参加の促進を図るため、活動の効果について、研究成果の発表の場を設けるなど、検証・評価の結果を積極的に情報発信します。

スケジュール

施策	2025	2026	2027	2028	2029～
(7) 里地里山のコーディネート		○ 里地里山のコーディネートの推進			
	実施				
(1) 活動団体相互の連携の強化		○ 活動団体の交流の促進 ○ 活動に関する情報・ノウハウの共有			
	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ●	交流会 ● 事例集 ●

※事例集は必要に応じて作成する。

想定される検証・評価の分野の例

- ・農地や二次林が保全されることの効果
- ・良好な景観の保全や伝統的生活文化の知恵や技術の継承
- ・生物多様性の確保 等

b 保全等の手法の調査・研究

里地里山の保全等の手法について大学・研究機関等と連携し、調査・研究を行い、より効果的な保全等の推進を図ります。

スケジュール

施策	2019	2020	2021	2022	2023～
(7) 里地里山のコーディネート		○ 里地里山のコーディネートの推進			
	実施				
(1) 活動団体相互の連携の強化		○ 活動団体の交流の促進 ○ 活動に関する情報・ノウハウの共有			
	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●	交流会 ● 事例集 ●
(7) 大学、研究機関等との連携による調査・研究の推進		○ 保全等の効果の検証・評価 ○ 保全等の手法の調査・研究			
	検討・調査・研究				
			研究成果発表 ●		研究成果発表 ●

コーディネート活動



(南足柄市大雄町五本松・原地域)



(箱根町畑宿地域)

4

#### その他里地里山の保全等の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

##### (1) 指針の推進主体

県は、指針の推進に当たって、土地所有者等や地域住民の主体性を尊重し、県民、企業、大学等の多様な主体、市町村等と相互に連携・協働を図りながら、施策の具体化を推進します。

また、全国的な連携・協働の取組への参加を図ります。

##### (2) 県の推進体制

県は、里地里山の保全等の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、関係部局相互の連携強化を図るとともに、土地所有者等や地域住民はもとより県民の理解のもと円滑な指針の推進を図ります。

##### (3) 国への提案活動

本県の里地里山の保全等の促進に係る施策・制度について、機会をとらえ国に提案活動を行います。

##### (4) 指針の進行管理

社会経済情勢の変化及び里地里山を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するために、指針に示した施策の実施状況を定期的に点検するとともに指針を検証し、必要に応じて見直しを行います。

4

#### その他里地里山の保全等の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

##### (1) 指針の推進主体

県は、指針の推進に当たって、土地所有者等や地域住民の主体性を尊重し、県民、企業、大学等の教育機関、市町村等と相互に連携・協働を図りながら、施策の具体化を推進します。

また、全国的な連携・協働の取組への参加を図ります。

##### (2) 県の推進体制

県は、里地里山の保全等の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、関係部局相互の連携強化を図るとともに、土地所有者等や地域住民はもとより県民の理解のもと円滑な指針の推進を図ります。

##### (3) 国への提案活動

本県の里地里山の保全等の促進に係る施策・制度について、機会をとらえ国に提案活動を行います。

##### (4) 指針の進行管理

社会経済情勢の変化及び里地里山を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するために、指針に示した施策の実施状況を定期的に点検するとともに指針を検証し、必要に応じて見直しを行います。





新

旧

b 保全等の手法の調査・研究

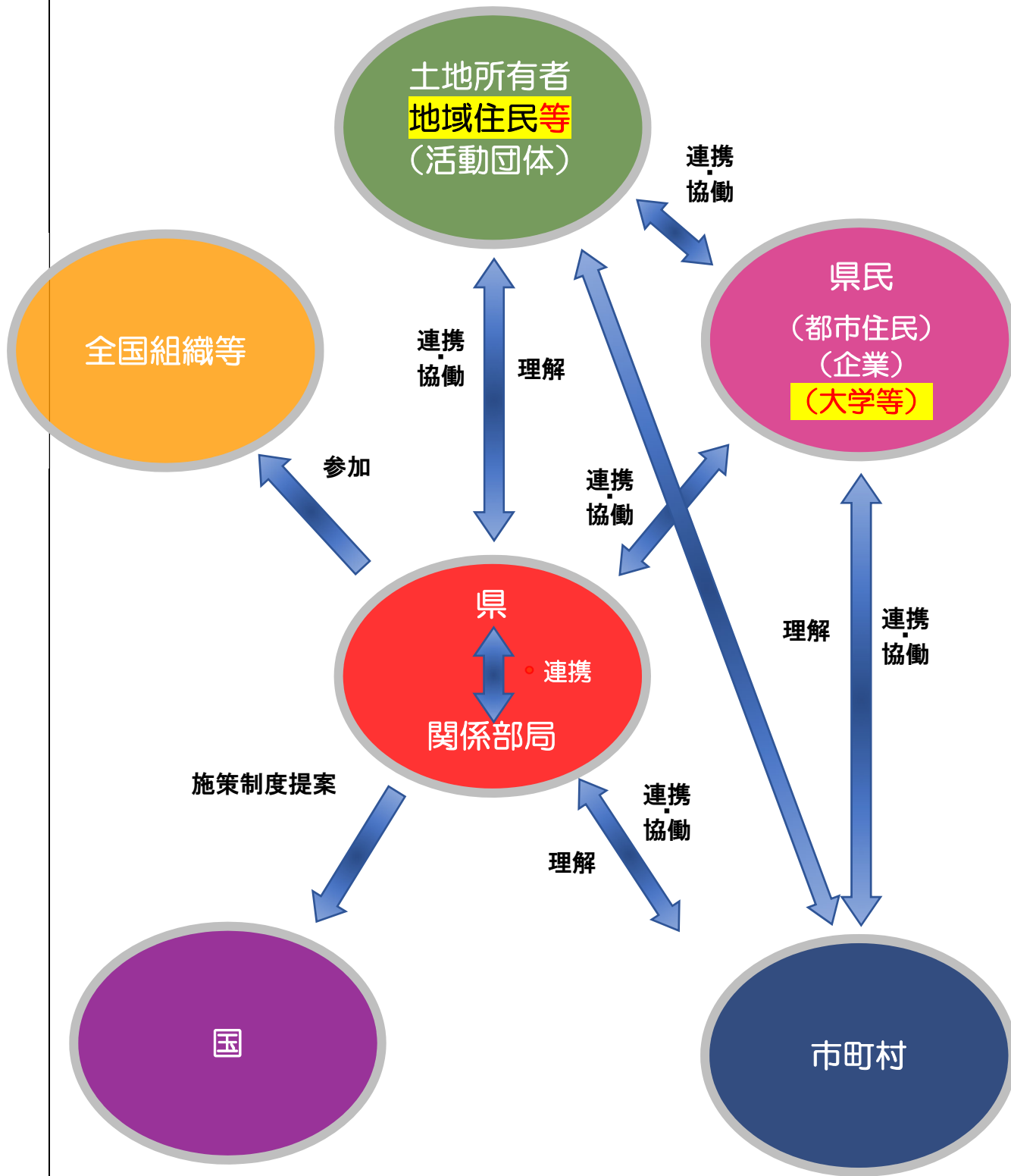
研究成果発表

●

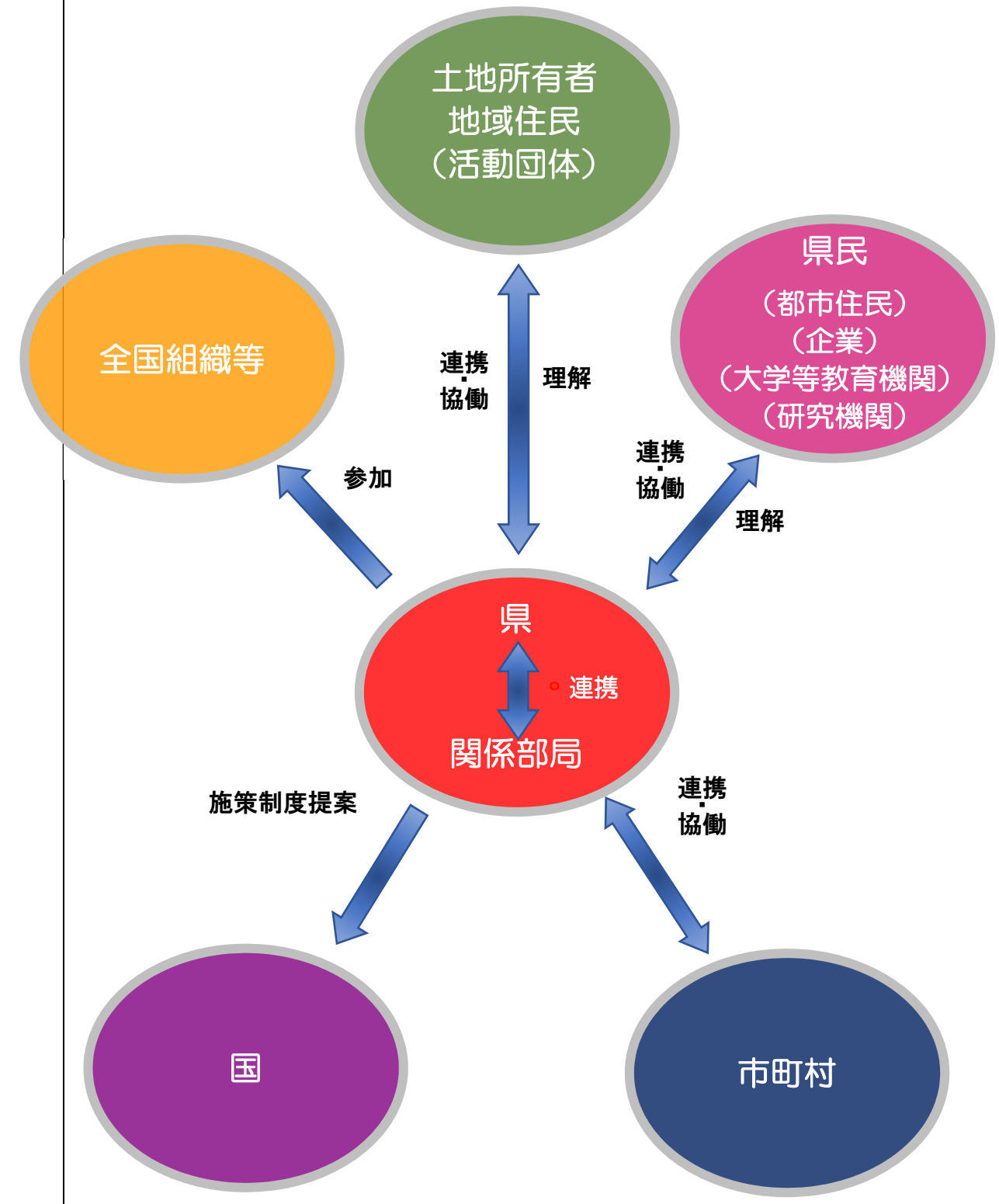
研究成果発表

●

(参考2) 施策の推進体制図



(参考2) 施策の推進体制図



新	旧
---	---

<p>(参考3) 神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例  (省略)</p> <p>(参考4) 地域選定及び協定認定の状況 (2025年3月現在)</p> <p>活動団体の写真  (省略)</p>	<p>(参考3) 神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例  (省略)</p> <p>(参考4) 地域選定及び協定認定の状況 (2019年3月現在)</p> <p>活動団体の写真  (省略)</p>
--	--

(参考5)

かながわランドデザインにおける里地里山保全の位置づけ

<新かながわランドデザイン（実施計画）>

テーマ 持続的に発展する神奈川

プロジェクト 7 農林水産  
～地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現～

プロジェクトのポイント

- 担い手の減少や高齢化、生産資材価格高騰などへの対応が必要
- 担い手の育成支援、スマート技術などの生産技術の開発・普及、ブランド力の強化の推進
- 食料等の生産基盤の構築と農林水産物の利用拡大を図り、持続可能な農林水産業の実現をめざす

神奈川の農林水産業をとりまく状況は、担い手の減少や高齢化、生産資材価格の高騰などにより依然として厳しく、デジタル技術の利活用、脱炭素化に向けた取組などへの対応が求められています。

そこで、新規就業の促進や経営感覚に優れた担い手の育成、スマート技術をはじめとする生産技術の開発・普及、環境負荷低減技術の導入支援、担い手への農地集積の促進などに取り組めます。また、県民ニーズに応じた新鮮で安全・安心な農林水産物の提供を支援するとともに、ブランド力を強化することで、農林水産物の利用拡大を図ります。こうした取組により、地産地消を推進し、持続可能な農林水産業の実現をめざします。



ドローンを活用したスマート農業



かながわブランド

指標（プロジェクトの達成度を象徴的に表す数値）



(参考5)

かながわランドデザインにおける里地里山保全の位置づけ

<かながわランドデザイン（総合計画） 第2期実施計画プロジェクト編>

柱 V まちづくり

プロジェクト 21 自然  
～多様な生物を育む自然環境の保全と活用～



森林整備により回復した下層植生(栗野市寺山)

森林地域ではニホンジカの過密化などにより植生が衰退し、里地里山や都市のみどりでは手入れが行き届かず、それぞれが持つ機能が十分に発揮されないなどの課題があります。

そこで、県民参加や地域・団体などとの連携により、森林、里地里山、都市のみどりの保全や再生に取り組み水源かん養、生物多様性の確保、生活にうるおいやすらぎをもたらすことなど自然の有する多面的機能の維持・回復を図ります。

また、人と動物が共生できる環境づくりを進めます。

具体的な取組

A 安定した食料等の生産基盤の構築

- 農林水産業の新たな就業者を確保するため、就業相談やマッチング会、研修・教育を実施するとともに、参入を希望する企業等を支援します。
- 経営感覚に優れた担い手を育成するため、技術・経営指導や研修会などを開催します。また、生産性の向上を図るために必要な機械・施設等の整備を支援します。
- 魅力ある産業として次世代へ引き継ぐため、新品種などの育成、品質や生産性を高めるスマート技術等の開発・普及、国際情勢の変化に左右されない飼料生産基盤の強化、養殖と海業の振興、水産資源の管理体制の強化などに取り組みます。
- 環境と共存する産業を実現するため、「みどりの食料システム戦略」に対応した環境負荷低減技術の導入支援、地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、薬場の再生・整備などに取り組みます。
- 農地中間管理機構などと連携した担い手への農地の集積を進めるため、地域での話し合いやほ場などの生産基盤の整備を推進するほか、集団的な優良農地の保全や、林道、漁港施設などの整備に取り組みます。

<KPI>

農林水産業への新規就業者数  
(県農業振興課、県森林再生課、県水産課調べ) (人)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
166	164	164	164	164

スマート農業技術の導入経営体数(累計)  
(県農業振興課、県畜産課調べ) (経営体)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
277	358	388	420	451

意欲ある担い手への農地集積率  
(県農地課調べ) (%)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
24.2	25.1	25.7	26.3	26.9

農業生産基盤の整備と一体となった農地集積率  
(県農地課調べ) (%)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
43	45	46	47	48

B 安全・安心な魅力ある県産農林水産物の利用拡大

- 県産の農林水産物を県民にとどけ、よこばれるため、かながわブランドの登録の促進や6次産業化の支援、生産者と食品関連事業者とのマッチング商談会により、農林水産物のブランド力の強化や付加価値の向上、利用拡大の促進を図ります。
- かながわ認証木材の安定供給を図るため、県産木材の生産から消費までの流通過程における認証制度の活用促進に取り組めます。
- 農林水産物の安全・安心を確保するため、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病対策や貝毒対策に取り組めます。また、農業生産工程管理(GAP)の導入支援や、畜産農場における飼養衛生管理向上の取組(農場HACCP)を推進します。
- 都市と農林水産業の共存を図るため、学校等への出前講座や、地域ぐるみの共同活動、里地里山の保全活動などを実施し、農林水産業の多面的機能や生産活動に対する県民の理解促進を図ります。
- 2027年に開催される国際園芸博覧会を通して、都市農業の理解促進とともに、県産農産物を広くPRし、県内外での需要拡大を図ります。

<KPI>

かながわブランドの認知度  
(県農二一課調べ) (%)

年度(2023)	2024	2025	2026	2027
71.5	74.0	75.0	76.0	77.0

特定家畜伝染病の発生件数  
(県畜産課調べ) (件)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
0	0	0	0	0

県民が里地里山の保全活動等に参加する人数  
(県農地課調べ) (人)

年度(2022)	2024	2025	2026	2027
7,520	7,600	7,700	7,800	7,900

プロジェクトのねらい

- ▶ 豊かな水と多様な生物を育む森林づくり
- ▶ 豊かな恵みとうるおいのある里地里山・都市のみどりづくり
- ▶ 人と動物が共生できる環境づくり

環 政 保 士

具体的な取組み

A 森林の保全・再生

- 良質な水を将来にわたり安定的に確保していくため、水源かん養などの公益的機能の高い活力ある森林づくりを進めるとともに、県民参加による啓発活動を推進するなど、水源環境の保全・再生に取り組みます。
- 丹沢大山の自然環境の劣化に対応するため、土壌流出対策、植生保護柵の設置、ニホンジカの保護管理などの自然再生施策に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
豊かな水を育む水源環境の保全・再生 実施主体   県、市町村、民間		保全・再生の推進		
丹沢大山の自然再生施策の推進 実施主体   県、市町村、民間			自然再生施策の推進	

B 里地里山の保全・活用

- 多様な生物を育み、良好な景観やレクリエーションの場を提供するなど里地里山の有する多面的機能を発揮し、次世代への継承を図るため、保全が必要な地域の選定、保全活動を行う団体への支援及び保全活動への県民参加を促す普及啓発に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
里地里山の保全活動への支援や普及啓発の実施 実施主体   県、市町村、民間		保全活動団体への支援など		

C 都市のみどりの保全・活用

- 都市の貴重な緑地を次世代へ継承するため、残された緑地を保全し、買入れた緑地の適切な維持管理に取り組むとともに、小網代の森の環境学習の場としての活用を促進します。
- 都市のみどりを保全・活用するため、県立都市公園の整備や三浦半島国営公園の誘致などに取り組めます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
都市の緑地の保全・維持管理及び小網代の森の環境学習の場としての活用 実施主体   県、市町村、民間		緑地の保全と適切な維持管理及び小網代の森の活用 小網代の森のトイレ整備		
県立都市公園の整備推進や国営公園の誘致 実施主体   県、市町村、民間			県立都市公園の整備など	

D 人と動物との共生

- 野生鳥獣による生態系への影響や農林業被害などの軽減を図るため、地域が主体となって行う捕獲などの対策への支援及び被害対策を担う人材の確保及び育成などに取り組めます。
- ペットの終生飼養の推進と犬・猫へのマイクロチップ装着、ドッグウォーキングなどを普及し、犬・猫殺処分ゼロの継続と、動物保護センターの再整備に取り組めます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
野生鳥獣の保護管理の推進 実施主体   県、市町村、民間		野生鳥獣の保護管理、人材の確保など		
ペットの終生飼養の推進、マイクロチップの普及、動物保護センターの再整備 実施主体   県、民間		終生飼養の推進、マイクロチップの普及など 動物保護センターの再整備		

新		旧
<p><b>(参考6) 取組事例 (2019~2024)</b></p> <p><b>里の力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山活動協定の締結の促進への支援  <b>里地里山再生に取り組んでいる一般社団法人(山北町)への制度説明の実施</b>  <b>新規協定の締結に向けた市への制度説明(相模原市 篠原の里)</b></li> <li>里地里山保全等地域の選定への支援  制度説明・現地調査の実施 (<b>横浜市、相模原市、横須賀市、茅ヶ崎市、葉山町、松田町、山北町</b>)</li> </ul> <p><b>まちの力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山保全等に対する県民の理解の促進  <b>SNSの活用などによる積極的な情報発信</b>  子ども里地里山体験学校</li> <li>都市住民等の里地里山の保全等への参加  都市住民等との交流促進  <b>里山マルチライブプラン(七沢・荻野)</b>  <b>活動</b>団体と地域自治会との協働した取組  大雄町五本松・原、矢倉沢、内山 ざる菊祭り  菩提 フェスタ、森林里山セラピー  黒川 アート</li> <li>企業等との連携促進  小田急電鉄株式会社との連携イベント (<b>黒川、蓑毛、東栢山</b>)  <b>小金井酒造とのカボス畑の共同整備(ネットあつぎ)</b>  NPO 法人よこはま里山研究所等との連携イベント (小松・城北)  ユークープかながわ県本部との協働取組「ヤマのがっこう」 (<b>菩提</b>)</li> <li><b>大学との連携促進</b>  <b>横浜国立大学の里地里山保全の手伝い(大雄)</b>  <b>明治大学の里地里山イベント手伝い(黒川)</b>  <b>東京農大のカボス畑ボランティア(ネットあつぎ)</b>  <b>東海大学の稲刈、稲わら片づけ(蓑毛)</b></li> </ul> <p><b>里の世話人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山のコーディネーター  アドバイザー活動  県での説明(「里の力」への支援含む)  活動団体交流会(里地里山サミット)</li> </ul>		<p><b>(参考6) 取組事例</b></p> <p><b>里の力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山活動協定の締結の促進への支援  松田町寄地域(寄ロウバイの会)における既存活動団体への県・町合同の制度説明会の実施  新規協定の締結に向けた地域団体(松田町寄)への制度説明会の実施</li> <li>里地里山保全等地域の選定への支援  制度説明・現地調査の実施(綾瀬市、厚木市、相模原市)</li> </ul> <p><b>まちの力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山保全等に対する県民の理解の促進  子ども里地里山体験学校</li> <li>都市住民等の里地里山の保全等への参加  都市住民等との交流促進  市民ボランティアを対象としたサポート隊結成(荻野)  協定団体と地域自治会との協働した取組  小松・城北 里山まつり  大雄町五本松・原、矢倉沢、内山 ざる菊祭り  菩提 フェスタ、森林里山セラピー  黒川 アート</li> <li>企業等との連携促進  小田急電鉄株式会社との連携イベント  NPO 法人よこはま里山研究所等との連携イベント  物産・観光プラザ「かながわ屋」での里地里山産品販売・パネル展示  ユークープかながわ県本部との協働取組「ヤマのがっこう」  富士ゼロックスとの連携(足柄茶の収穫等(矢倉沢))  湘南ウェディングサポートとの婚活イベント(田植え～収穫(蓑毛))</li> </ul> <p><b>里の世話人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山のコーディネーター  アドバイザー活動  県での説明(「里の力」への支援含む)  活動団体交流会(里地里山サミット)</li> </ul>

## (参考7)

## かながわの里地里山に対する期待とアンケート結果概要

平成20年度に実施した県政モニター県政課題アンケートにおいて、「里地里山の保全等の必要性」については、96%の方が「必要である」と回答しており、こうした期待に応えるため、指針に基づき様々な施策を実施してきました。多くの県民の皆様に参加していただける里地里山体験イベント（子ども里地里山体験学校）や里地里山に対する理解を深めていただく機会（里地里山シンポジウム）の提供等を行いました。

平成25年5月及び平成30年2月に実施したe-かなネットアンケート、令和5年10月に実施したe-KANAGAWA電子申請システムによるアンケートにおいても、里地里山の必要性は「必要である」と「どちらかという必要である」を合わせてそれぞれ、93%、93%、97%と高い理解を得ています。

令和5年のアンケートでは33名の方から回答をいただきました。回答者の年代は10～60代と幅広く、男女比は半々、地域別には横浜市、県央地域の方が5割を占めました。

「里地里山の役割や機能で重要と思うもの」を聞いたところ、その上位は次のようになっています。

- ・「多様な生物を育む空間、生物多様性の確保」(88%)
- ・「四季折々の風景・良好な景観の形成」(70%)
- ・「水源かん養」(61%)
- ・「農林業の場」(58%)
- ・「県土の保全、洪水、土砂崩壊など災害の防止」(55%)

このように、里地里山の保全の必要性については、多くの方が必要であると認識しており、里地里山の様々な機能が発揮されることが変わらず期待されていることがわかります。

また、保全等に取り組んでいる活動団体からは、自然の恵みを活かした里地里山であり続けられるよう頑張りたいという意見がある一方、会員の高齢化が進み人手不足や資金不足が課題となっているという声も多く聞かれました。活動に必要な支援としては、多くの団体が保全活動に対する支援を挙げており、特に草刈機などの資機材への要望が多くみられました。

## &lt;アンケート結果概要&gt;

- ・e-KANAGAWA電子申請システムアンケート（里地里山に関する意識調査）：R5.10月実施
- ・里地里山活動状況アンケート（条例認定団体、その他の団体）：R5.10月実施

## (参考7)

## かながわの里地里山に対する期待とアンケート結果概要

平成20年度に実施した県政モニター県政課題アンケートにおいて、「里地里山の保全等の必要性」については、96%の方が「必要である」と回答しており、こうした期待に応えるため、指針に基づき様々な施策を実施してきました。多くの県民の皆様に参加していただける里地里山体験イベント（子ども里地里山体験学校）や里地里山に対する理解を深めていただく機会（里地里山シンポジウム）の提供等を行いました。

平成25年5月に実施したe-かなネットアンケートにおいても、里地里山の必要性は「必要である」と「どちらかという必要である」を合わせて93%と高い理解を得ています。

また、同様の内容により平成30年2月に実施したe-かなネットアンケートにおいても、里地里山の必要性は「必要である」と「どちらかという必要である」を合わせて93%と高い理解を得ています。

このアンケートでは61名の方から回答をいただきました。回答者の年代は30～70代が多く、男女比は半々、地域別には横浜市、川崎市在住の方が7割近くを占めました。

「里地里山の役割や機能で重要と思うもの」を聞いたところ、その上位は次のようになっています。

- ・「多様な生物を育む空間、生物多様性の確保」(75%)
- ・「四季折々の風景・良好な景観の形成」(69%)
- ・「水源かん養」(57%)
- ・「気温上昇抑制などの気候の緩和」(44%)
- ・「県土の保全、洪水、土砂崩壊など災害の防止」(44%)
- ・「情操・環境教育の場」(44%)

このように、里地里山の保全の必要性については、前述した「子ども里地里山体験学校」の参加者の感想にもあるように、多くの方が必要であると認識しており、里地里山の様々な機能が発揮されることが変わらず期待されていることがわかります。

また、平成21年度から保全等に取り組んでいる活動団体からは、活動を通じて地域の保全に対する意識が芽生えたという声や、企業との連携により地域の活力が高まったという声がありました。

## &lt;アンケート結果概要&gt;

- ・e-かなネットアンケート（里地里山に関する意識調査）：H30.2月実施
- ・里地里山活動状況アンケート（条例認定団体、その他の団体）：H30.2月実施

新		旧
---	--	---

<p><b>(参考8) 市町村の条例等独自の取組</b></p> <p>条例による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市生物多様性に配慮した自然との共生に関する条例</li> <li>・厚木市里地里山保全等促進条例</li> </ul> <p>補助事業制度等による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山的環境保全・活用事業（横須賀市）</li> <li>・里山管理体験（葉山町）</li> <li>・相模原市里地里山保全等促進事業</li> <li>・厚木市里地里山保全等促進事業</li> <li>・里山づくり推進事業（愛川町）</li> <li>・緑地保全協働事業（藤沢市）</li> <li>・秦野市里山ふれあいの森づくり事業</li> <li>・南足柄市里地里山保全等促進事業</li> <li>・ゆがわら眺望ガーデン（湯河原町）</li> </ul>		<p><b>(参考8) 市町村の条例等独自の取組</b></p> <p>条例による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市里地里山の保全等の促進に関する条例</li> <li>・厚木市里地里山保全等促進条例</li> </ul> <p>補助事業制度等による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市里地里山保全等促進事業</li> <li>・藤沢市里地里山保全等補助金交付</li> <li>・里山ふれあいの森づくり事業（秦野市）</li> <li>・海山に育ち親しむ子どもたち里山管理体験実施要領（葉山町）</li> </ul>
--	--	---

赤字：前回修正箇所      赤字：今回修正箇所